



社協シンボルマーク
(社の字を図案化したものです)

ぬくもり

第46号

発行／社会福祉法人 知内町社会福祉協議会

menu

- 会長あいさつ
- 令和7年度
共同募金運動
- 防災訓練
- いきいきサロン
- 赤い羽根共同募金
知内町限定
ピンパッチが
できました！



〔写真：いきいきサロン「モルケシ（森越）」〕

「節分」は、2月きつこの 伝統行事です！

厄払いを目的として、古くから
日本で親しまれてきた2月の行事
の一つです。

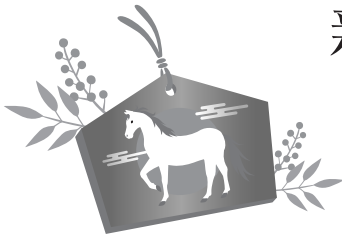
実はこの「節分」という言葉に
は、もともと「季節を分ける」と
いう意味がありました。

そのため、立春、立夏、立秋、
立冬の前日を指していましたが、
現在では立春の前日の節分、つま
り2月にやってくる節分が特に大
切にされています。

この「立春」は暦の関係で日付
が変化するため、節分の日付けも
年ごとに変わります。

ちなみに、2026年の節分は
2月3日です！





新年のご挨拶

社会福祉法人 知内町社会福祉協議会

会 長 藤 谷 利 弘



新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より当社会福祉協議会に対しまして、町民皆様の温かいご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、ご承知のように近年、福祉を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、少子高齢化の急速な進展や人口減少、さらには、社会経済状況の変化に伴い、地域における一人暮らしや夫婦高齢者世帯、寝たきり・認知症など、高齢者や障がい者における生活課題は、さらに複雑化及び多様化しており、最近では、物価高の影響もあり、私たちの日々の暮らしにも大きな影響が出ているところです。

このような中、ともに支え合い、助け合い安心して暮らし続けられることを目指し「我が事」・「丸ごと」地域共生社会の実現に向けて、町内会を中心に地区民生委員や関係機関、団体の協力を得て、「いきいきサロン活動」はじめ「訪問安心見守り活動」や「福祉有償ボランティア活動」など各種支え合い活動を展開しています。

また、福祉のまちづくりの指針となる地域福祉実践計画も第6期の計画が終了することから、第7期地域福祉実践計画（令和8年度から令和12年度までの5ヶ年間）を現在、策定中であり、地域福祉の推進役として事業展開を図ってまいります。

昨年12月8日深夜青森県東方沖を震源とする地震があり、青森県八戸市で震度6強、函館市で震度5強、

知内町では震度4の揺れを観測した。

気象庁によると、地震の規模は、でマグニチュード（M）7.5、負傷者は少なくとも51人で、うち北海道が11人と発表され、青森県等に津波警報が、北海道西部などに注意報が出され、7時間後の9日早朝に解除されました。真冬の夜間という厳しい環境での避難となり、不安な一夜を過ごした方も多かったと思います。

同時に気象庁は、日本海溝、千島海溝沿いで、巨大な津波を伴う地震が切迫しているとして、9日未明に道内の63市町村を含む千葉県までの7道県182市町村を対象に1週間を目安として、運用開始後、初めて「北海道・三陸沖後発地震注意報」を発表し、昼夜を問わず運用されましたが、大事には至らず、住民各位には「自分の命は自分で守る」という迅速な避難体制を維持しながら、冷静に社会・経済活動を継続し、今回に至ったところであります。

当社協としても、現在展開している「自主防災活動」において、各町内会がこれまで実施してきた避難訓練等々について、さらに町や各町内会と連携し、積極的に支援して参ります。

今後とも地域福祉の推進の為、町民の皆様に理解され支持されるよう役職員一丸となって努力してまいりますので、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げまして新年のご挨拶と致します。

謹んで
新年のお慶びを
申し上げます



会 長
副 会 長
理 事

監 事
評 議 員

事務局長

藤谷 利弘
田中 雄二
岡田 敬司
鳴海 英人
木村 和義
伊藤 孝
手塚 春美
松井 信幸
村上 義久
職員一同

佐藤 元
小林 敬子
吉田 成三
宮崎 豊勝
金澤 富美子
西山 大太郎
松山 和史
小向 美千代
佐藤 暁樹
中川 豊彦
杉本 真弓
花井 泰子
手塚 恵一
前川 愛子

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございました。

10月1日から全国一斉に行われた「赤い羽根共同募金運動」は、皆様のご理解とご協力により、たくさんの募金が寄せられ誠にありがとうございました。

お寄せいただきました募金は、一旦、北海道共同募金会に送られ、令和8年度における当町の地域福祉事業や福祉団体などに約7割が役立てられ、次年度の募金事務費を除いた、残りの約2割は北海道内の広域的な課題を解決するほか、災害時の備えのために使われます。

募金総額 1,002,210 円

町内会各戸募金額

(単位:円)

町内会名	世帯数	募金額	町内会名	世帯数	募金額
中ノ川	66	49,298	涌元谷地	55	44,400
森越	113	89,800	はまなす	45	29,300
渡島知内	121	87,500	涌元	150	117,277
きらく	96	62,800	小谷石	39	39,500
重内	79	74,000	小計	1,127	898,541
湯ノ里	133	98,866	学校	2	14,754
上雷	39	39,100	企業	26	70,000
元町	140	121,300	募金箱他	5	18,915
前浜	51	45,400	合計	1,160	1,002,210

(令和7年12月末現在)

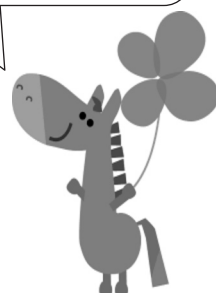


「知内小学校 児童会」のみなさん



「知内中学校 生徒会」のみなさん

心温まるたくさんの募金
にご協力いただき、ありが
とうございました。



防 災 訓 練

日頃から防災意識を高めるため、全13町内会に自主組織が立ち上がり、防災避難訓練、炊き出し訓練、ハザードマップ等を活用し、避難経路や避難所の運営などの活動を実施しています。



森越町内会（煙体験）

いきいきサロン

高齢者等の地域との交わりや閉じこもりの防止等を狙いとしてサロンスタッフが中心となり町内会館等で開催しています。地区によりさまざまですが、参加対象者が気軽に参加できるよう支援して参ります。また、移動が困難な方については、地区のサロンスタッフが車での送迎を行っておりますので、サロンスタッフへご相談下さい。



いきいきサロン「ときわ」（上雷）
（木古内警察署による防犯講和）

赤い羽根共同募金 知内町限定ピンバッチができました！

おもて



うら

【にらら&カキ太郎】
知内町の特産品である「にら」と「カキ」を長年PRしてきた「にらら」と「カキ太郎」が知内町共同募金委員会の寄付金付きピンバッジになりました。
知内町共同募金委員会としては、初めて作成するオリジナルの寄付金付きピンバッジとなります。知内町民にとって馴染みのあるキャラクターである「にらら」と「カキ太郎」に協力してもらい、今まで以上に赤い羽根共同募金活動の推進に尽力していきたいと思っています。



●本品にはとがった部分や小さな部品があります。お子様の頭や服の隙間には十分にご注意ください。
●小さなお子様の手の届かない所で保管し、大切にしてください。

一人ひとりの想いを重ねて、大きな力に。
知内町共同募金委員会
〒049-1103 北海道知内町字重内21-1 知内町役場1階
TEL:01392-5-4071

知内町限定のピンバッジ「にらら」と「カキ太郎」をコラボしたピンバッジを作成いたしました。バッジ1個500円以上の募金でお渡しします

ご希望の方は知内町社会福祉協議会（知内町共同募金委員会）事務所にお越しください。皆様のご協力よろしくお願いします！ TEL 01392-5-4071

社協だより「ぬくもり」 令和8年1月号 発行／社会福祉法人 知内町社会福祉協議会
〒049-1103 上磯郡知内町字重内21-1 知内町民センター内
TEL (01392) 5-4071 FAX (01392) 5-7441